

特記仕様書

- 1 総 則 この特記仕様書は、市川市における消防音楽隊制服マーチング服の製造請負について必要事項を定めることを目的とする。
- 2 件 名 消防音楽隊制服マーチング服の製造請負
- 3 数 量 上衣(ワッペン付き) 25着
ズボン 25着
- 4 納 期 令和7年3月21日(金)
- 5 納入場所 市川市消防局 予防課
- 6 担 当 課 市川市消防局 予防課
- 7 使用生地 別紙「市川市消防局 消防音楽隊制服 マーチング服仕様書」のとおり
- 8 生地の提出 入札参加申請期日までに提出書類とともに、使用する生地で「染めをした耳つき2m以上の生地」及びメーカーからの「生地規格書」及び「出荷引受書」を契約課へ提出するものとする。
- 9 縫 製 ○ 縫製は、別紙「市川市消防局 消防音楽隊制服 マーチング服仕様書」のとおり
○ 縫製については、原則国内縫製工場で縫製するものとする。ただし、国内縫製工場を通して、信頼できる海外の系列工場に作業を行わせる場合はこの限りではない。検査において、指摘事項があった場合には、国内縫製工場で修正ができることを条件とする。
○ 検査において、一般財団法人日本繊維品品質技術センター（以下「QTEC」という。）が実施し、その結果に基づき契約課が行う検査に合格した製品でなければならない。
- 10 検 査 ○ 本件は生地検査、中間検査及び納品検査に合格した製品でなければならない。なお、検査にかかる費用はすべて契約業者が負担するものとする。
①生地検査：QTECが試料に対する試験を実施し（試験成績証明書の発行あり）、契約課が検査する。

② 中間検査：QTECが実施し（製品検査報告書の発行あり）、契約

課が検査する。

契約業者は、契約課担当者と中間検査の日時を打合せるものとする。

検査場所は原則として市川市消防局の事務所内とする。

③ 納品検査：契約課及び担当課により実施する。

11 その他

- 契約業者は「出荷証明書」を速やかに契約課に提出するものとする。
- 契約業者はサイズの基準表に基づき音楽隊員各々に対して採寸を実施すること。基準表で対応できない隊員については別寸で対応すること。
なお採寸日は担当課から指定された日時とする。
- 納入の際は、納品日を担当課に確認のうえ納入すること。
- 生地メーカー及び縫製会社による不都合箇所が生じた場合は、無償で取替え又は修繕するものとする。
- 本仕様書に記載のない事項に関しては、担当課及び契約課の指示に従うものとする。
- 暴力団等排除に係る契約解除に関する特約条項を遵守すること。
- この特記仕様書に定めのない事項については、製造請負契約書（「製造請負契約約款」を含む。）に定めるとおりとする。

市川市消防局

消防音楽隊制服

マーチング服仕様書

消防音楽隊制服 マーチング服仕様書

- 1 本仕様書は、市川市消防局 消防音楽隊制服 マーチング服一式（上衣(ワッペン含)・ズボン）2品目について適用する。

2 品目

・上衣 形式（図1）

形式は立衿シングル・センターファスナー、ショート丈、
長袖・肩章付き・袖章（袖章は協議の上デザイン決定）付きとする。

前に折り返しのアクセントを入れる。

総裏地に左内ポケット付きとする。

衿・肩章・袖章・裾に同じライン（10mm前後）を取り付ける。

左袖にワッペンの取付けをする。（方法は協議の上決定）

背面に金刺繍で『ICHIKAWA CITY』の文字（文字の字体は協議の上決定する）
を入れる。

本体色はレッド・切り返し部分をアイボリーとする。

寸法は、規格を基準に各隊員のサイズに合わせ、細部は調整する。

・ズボン 形式（図2）

形式は、前に左右ポケットがあるアジャスター付きとする。

後は左右に切り込みポケットを付ける。

ベルト通しを5箇所付ける。

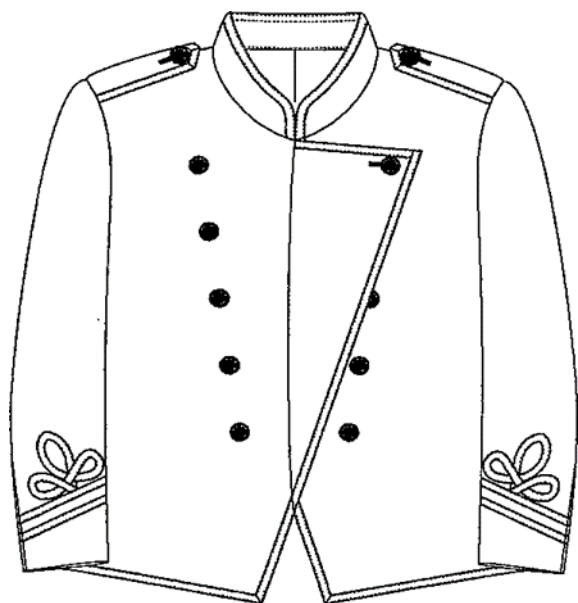
脇にラインを取り付ける。（ジャケットと同じラインを使用する）

色はアイボリー（ジャケットのアクセントカラーと同じ生地）を、
使用する。

寸法は、規格を基準に各隊員のサイズに合わせ、細部は調整する。

図 1

前面



後面

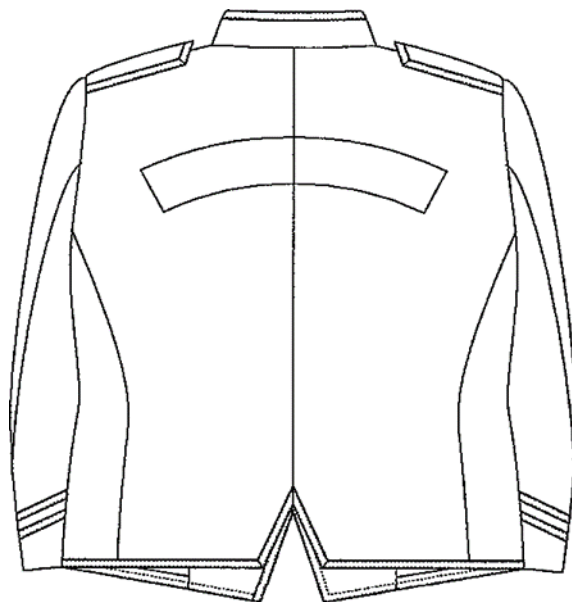


図 2

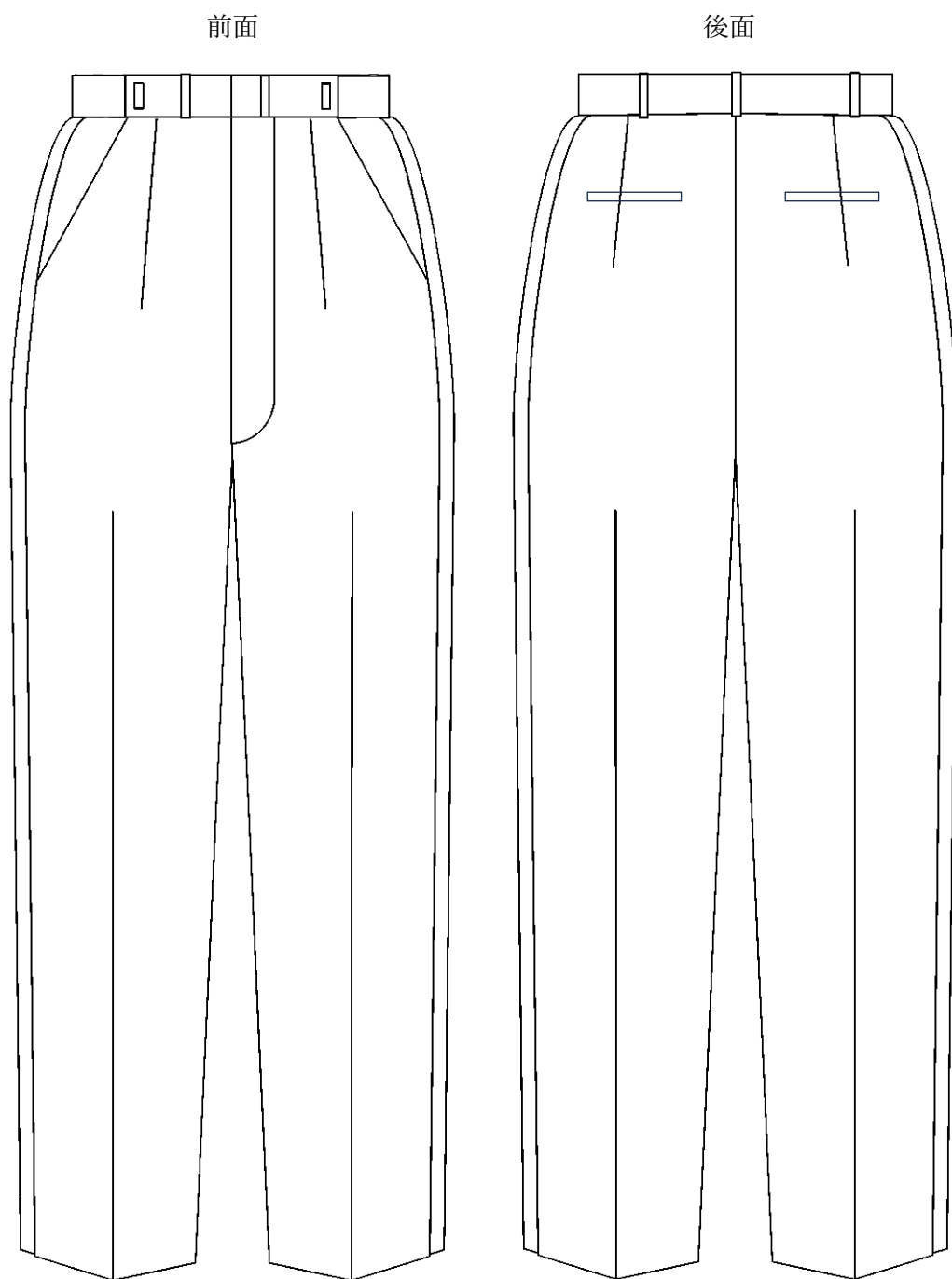


図 3

縦およそ 10 cm×横およそ 8 cm



3 縫製

・一般

- ア 各部の縫製は、縫い目の飛び、外れがない優良なものとする。
- イ 縫い代は各部に適した十分なものとする。
- ウ 糸調子は、縫い目が均一で縫い曲がりが目立たない物とする。
- エ 縫い目数は、次の値を標準とする。
 - 地縫い運針数 12針以上／3cm間
 - 飾りステッチ 12針以上／3cm間
- オ 飾りステッチは、表ミシンとする。
- カ 釦穴は、ミシン穴かがりとする。
- キ 各部の合標、曲線縫いは縫い合わせにずれが無いようにする。
- ク アイロン仕上げは、品質管理を損なわないようにする。
- ケ 接着芯を使用する部分は、すべて高温加熱式芯張りプレス機を用いて接着する。
- コ 布目はパターン指定通りとする。

・上衣

ア 衿

- ① 表地・裏共、共通の生地を使用する。
- ② 芯は衿に使用する。硬めの芯を使用する。
- ③ 縁に金ライン10mmを使用する。

イ 袖

- ① 表裏共に2枚袖とする。
- ② 袖口の折り返しは裁ち切り4cmとし、伸び止め芯を貼る。
- ③ 裏地は袖口から出ないように、袖口から10cm程度の場所で縫い代を固定する。
- ④ 袖付けは、桁布を使用し袖下、袖山の標を合わせ、袖山にギャザーが寄らないようにいせ込みながら取り付ける。
- ⑤ 袖口に飾りラインと飾り紐を取り付ける。(飾り内容は協議により決定)

ウ 裏地

- ① 裏地は総裏地とする。

エ 脇縫い

- ① 裏地のずれがないよう、袖付け部分の縫い代を固定する。

オ 左内ポケット

- ① 切り込みポケットとし、左右の見返しと裏にまたいで、取り付ける。
- ② 片玉縁とし、三角蓋と釦で閉じるようにする。

- ③ 釦は15mm4ツ穴釦、色は合わせる。

カ 裾

- ① 前後身頃共、折り返し裁ち切り4cmとする。
見返しと裏地のミシン縫い出来ない部分は、手まつりで隙間の無いように仕上げる。

キ 肩章

- ① 肩章を左右に肩先に挟み込み取り付ける。
- ② 肩章は金ライン10mmを縁に取付け、釦ホールを先部分に開け釦を使用して固定する。
- ③ 肩章は裏表共、ジャケットと同じレッド生地を使用する。

ク 釦

- ① 足付金釦（樹脂製金メッキ）21mmを胸飾り釦として10個取り付ける。
- ② 足付金釦（樹脂製金メッキ）21mm肩の肩章留め釦として2個取り付ける。

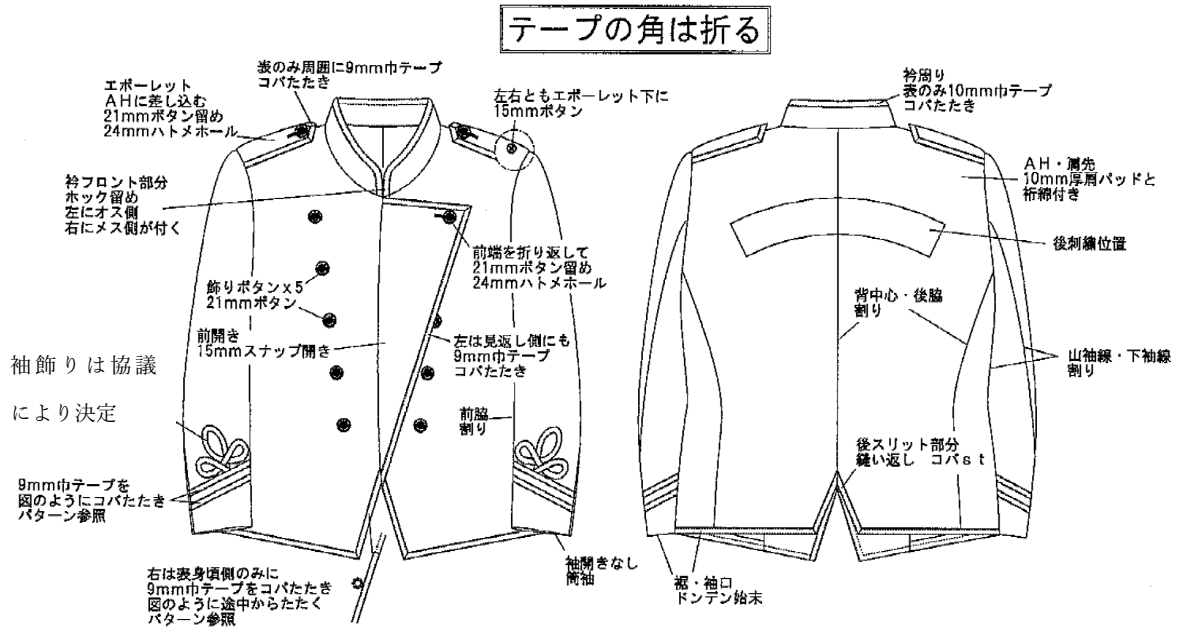
ケ ワッペン（図3のとおり）

- ① ワッペンは指定の図柄 赤台に『ICHIKAWA CITY』と『令和6年度助成 一般社団法人中山馬主協会』の文字を金刺繍にて入れる。
- ② ワッペンの取付位置は、左袖上部より10cm下、上袖左右より中央に取り付ける。

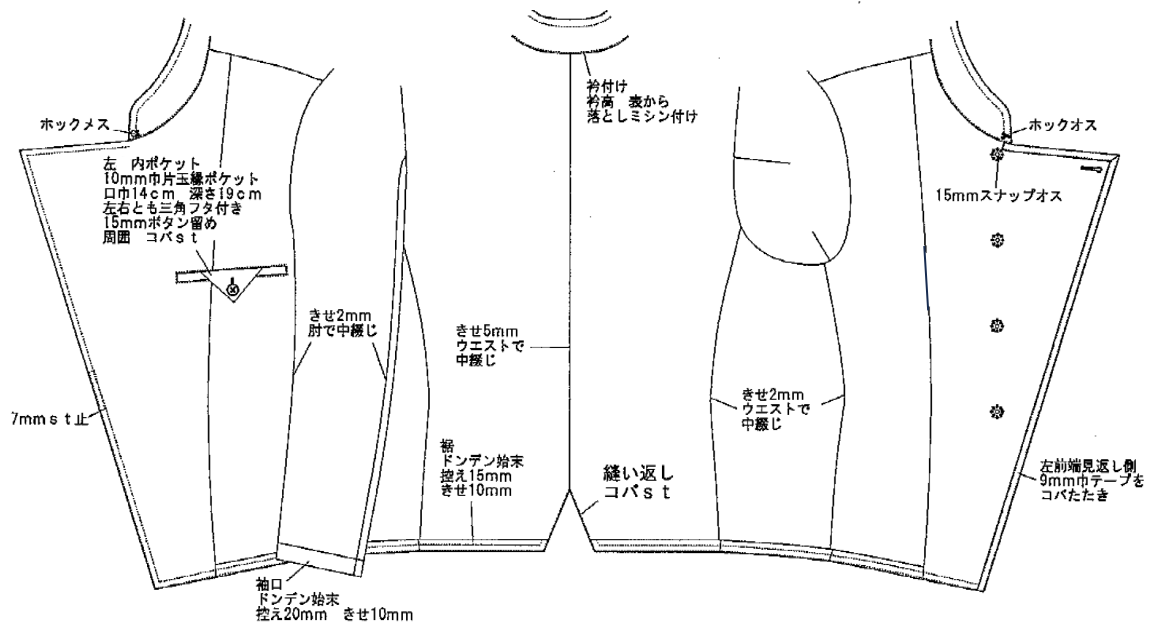
コ ネーム

- ① ブランドネームは左前裏地に取り付ける。
- ② サイズ・氏名札はブランドネームの下に取り付ける。
- ③ 衿吊りは衿と後ろ身頃の間挟み込む。
- ④ 品質表示は左裏脇の裏地に挟み込む。

1. 縫製仕様（外面）



2. 縫製仕様（内面）



・ズボン

ア 形状

- ① スタンダードなアジャスター付きズボンとする。

イ ポケット

- ① 前脇部分にアジャスター部を利用しポケットを付ける。
- ② 後に左右切り込みポケットを付ける。

ウ 腰布

- ① 高さを4 cmとする。
- ② 前合わせは左上前で、前合わせにカギホックをつける。

エ 腰ダーツ

- ① 後ろ身頃にダーツをとる。
- ② 左右に1本とする。

オ タック

- ① 前に1本タックを入れる。
- ② タックの深さは1 cm とする。

カ ファスナー付け

- ① 天狗側は身頃端を折、天狗との間にファスナーを鉤み縫い付ける。
- ② 前立て側は、ファスナーに上端を腰帯下に差し込み、耳を2条縫いで縫い付ける。

キ 天狗及び前立て

- ① 天狗は芯を入れ、裏地と地縫い返しし、奥はオーバーロックとする。
- ② 前立てには芯を入れ、裏地と地縫い返しし、奥の裁ち目は芯と共にオーバーロックかかりとする。
- ③ 前立ては幅3.5 cm とする。
- ④ 前立てファスナー開き口下端に、天狗裏共にかんぬきを入れる。

ク 脇縫い及び内また縫い

- ① 地縫い割りとし、裁ち目オーバーロックかかりとする。

ケ 尻縫い

- ① 地縫いし、二重ミシンとする。
- ② 上部の縫いは、1.5 cm 以上とし裁ち目ミシン縫いする。
- ③ シックは股割りに沿って縫い代とミシン縫いする。

コ 膝裏

- ① 前身頃上端より膝下まで、裏地をつける。
- ② 両脇は表地と共にオーバーロックかかりとする。

サ 裾

- ① 裾はフリーとし、裁ち目をオーバーロックかかりとする。

シ ベルトループ

- ① ループは、表地を三巻き幅 1. 0 cm とする。
- ② 裁ち目はオーバーロックミシンでかかる。
- ③ ウエスト部分に 5 箇所ループ状にして取り付ける。
- ④ ループの高さ内側 4 cm 仕上りとする。

ス ライン

- ① 脇縫い目を中心に、金ライン 1 0 mm を縫い付ける。

セ ネーム

- ① ブランドネームは腰帯裏の左前中心を目安に縫い付ける。
- ② サイズネームは織ネーム下に挟み込む。
- ③ 品質表示は、織ネーム下に腰帯と膝裏の間に挟み込む。

4 素材

・主素材

ア ジャケット・ズボン 共 SK 8 0 0 0 スマートカシドス
ポリエステル 100%を使用する。色番 K-18・K-11
(別紙 表生地規格のとおり)

イ ジャケット 副素材

- ① 立衿芯 E2000 WD のり付
- ② ジャケット前身 1 8 1 1 コンベル芯のり付
- ③ 裏地ポリエステル 100% S5075
- ④ 衿ホック
- ⑤ ファスナー ビスロン (4 ビス) オープンファスナー
- ⑥ 釦 A B S 樹脂金メッキ製 2 1 mm

ウ ズボン副素材

- ① ズボンベルト芯 P 9 5 0 1 のり付
- ② アジャスター B E R E X
- ③ ファスナー 金属製とする。
- ④ 膝裏 ポリエステル 100%

5 サイズ

○基準表(参考)

単位 cm

上衣

	男性用							
	AS	AM	AL	A2L	BS	BM	BL	B2L
バスト	89	92	95	99	94	97	100	104
肩幅	42	44	46	48	42	44	46	48
袖丈	56	58	60	62	54	56	58	60
着丈	68	70	72	74	70	72	74	76

	女性用							
	ASW	AMW	ALW	A2LW	BSW	BMW	BLW	B2LW
バスト	76	79	81	85	83	86	89	93
肩幅	39	40	41	42	40	41	42	43
袖丈	53	55	57	59	53	55	57	59
着丈	67	68	70	71	67	68	70	71

ズボン

	男女兼用								
	U1	U2	U3	U4	U5	U6	U7	U8	U9
ウエスト	72-78	76-82	80-86	84-90	88-94	92-98	96-102	100-106	104-110
ヒップ	94	97	100	103	106	109	112	115	118

別紙

表生地規格
(消防音楽隊マーチング服)

試験項目		規 格	試験方法
混用率		ポリエステル 100%	JIS L 1030-2
番手		たて 150D よこ 150D	JIS L 1096 見掛メートル番手
組織		朱子織	JIS L 1096
密度		たて 149 本以上 よこ 119 本以上	JIS L 1096 A法
質量		230G/㎡以上	JIS L 1096 A法
引裂強度		たて 45 N 以上 よこ 40 N 以上	JIS L 1096 D 法
寸法変化		たて ±3%以内 よこ ±3%以内	JIS L 1096 H-2法
洗濯堅牢度		変退色 4級以上 ポリエステル 4級以上	JIS L 0844 A-2号
汗 堅 牢 度	酸性	変退色 4級以上 ポリエステル 4級以上	JIS L 0848
	アルカリ性	変退色 4級以上 ポリエステル 4級以上	
摩擦堅牢度		乾燥 4級以上 湿潤 4級以上	JIS L 0849 摩擦試験機Ⅱ型
耐光堅牢度		4級以上	JIS L 0842 第3露光法
ピリング		5級以上	JIS L 1076 A 法 (ICI)
滑脱抵抗力 (一方向)		たて 3mm以内	JIS L 1096 B法
		よこ 3mm以内	